

# 新潟本社行動計画の取り組み状況について



2019年3月20日  
東京電力ホールディングス株式会社  
新潟本社

# 目次

1. 安全性向上の取り組み **update**
2. 運営体制の構築の取り組み **update**
3. 防災支援の取り組み  
緊急時の初動体制
4. 地域貢献の取り組み  
地域行事への参加 **update**
5. 傾聴と対話の取り組み
  - ① 全戸訪問
  - ② コミュニケーションブース **update**
  - ③ イベント型コミュニケーションブース **update**
  - ④ 地域の皆さまへの説明会
  - ⑤ トークサロン
  - ⑥ 発電所視察対応 **update**
  - ⑦ 広告 **update**

# 1. 安全性向上の取り組み

## 概要

- 「安全意識」「技術力」「対話力」を向上させるため、原子力安全改革プランを実行
- 新規制基準適合性審査（以下、審査）への真摯な対応
- 福島第一原子力発電所事故の反省を踏まえた安全対策の着実な実施  
※個別具体的な取り組み状況について、原子力安全改革プラン進捗報告にて定期的に報告

## 主な取り組み

### <事故を防ぐ>

- 福島第一原子力発電所事故の反省と教訓を踏まえた、自主的な安全対策を実施
- 綿密な断層調査による活動性評価及び保守的な基準地震動の策定
- 厳格な審査を通じた、更なる安全性向上と継続的な改善



### <止める（事故対応の技術的能力の向上）>

- 事故対応時に迅速・的確な意志決定が図られるよう、米国などの緊急時対応体制である、ICS（災害時現場指揮システム）の考え方を導入
- 過酷な状況を想定し、さまざまなシナリオによる訓練を継続的に実施し、技術的能力を向上



# 1. 安全性向上の取り組み

## 主な取り組み

### <冷やす>

- 電源喪失時も原子炉の冷却が可能となるよう、高圧代替注水設備の設置、消防車や大容量送水車の配備等、冷やす機能を多様化、多重化



### <放射性物質を閉じ込める・減らす>

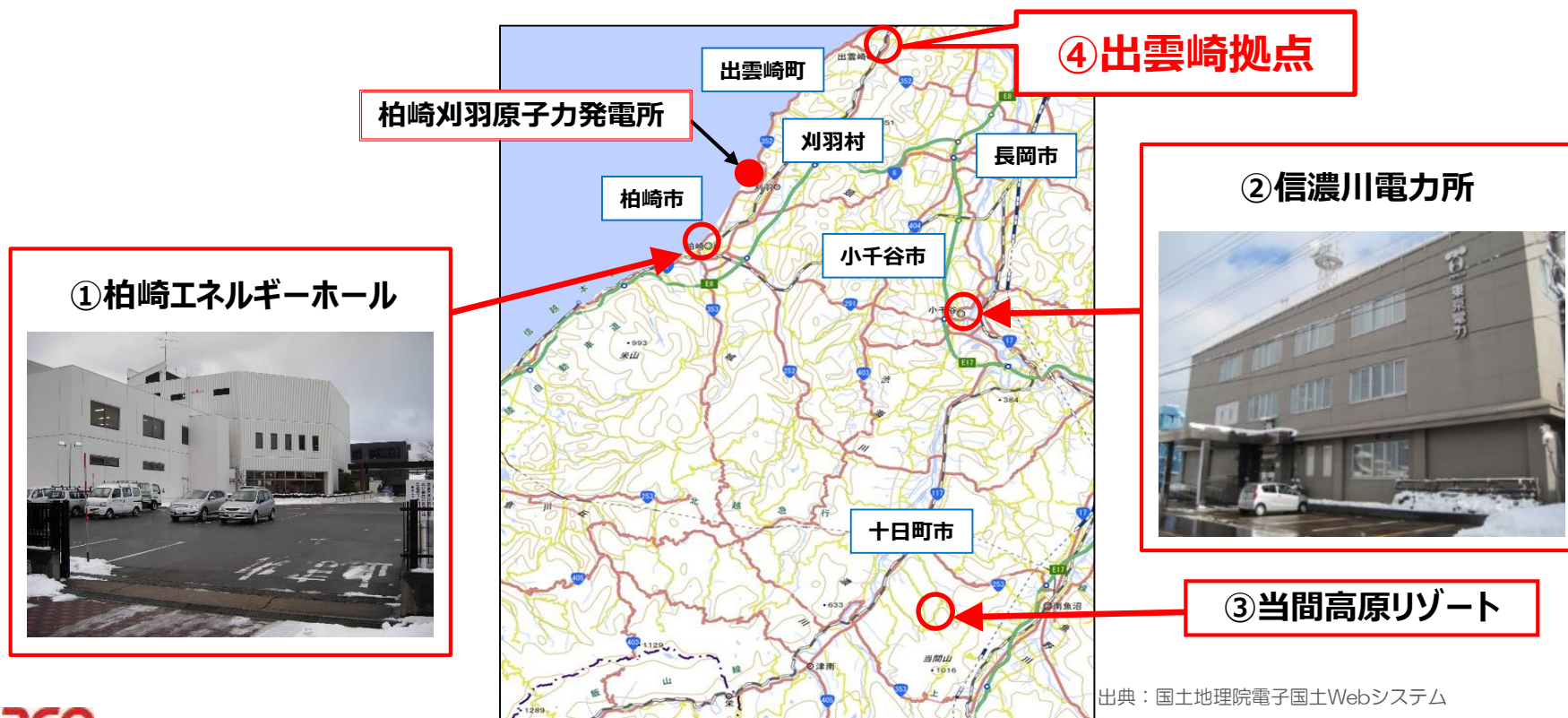
- 既存の除熱システムに加えて、圧力容器と格納容器内の除熱が可能な「新除熱システム」を開発し設置  
審査では、フィルタベントと同等以上の効果があり、ベントに優先して使用すべき設備として評価され、他のBWRプラントにも設置を義務付け
- 万が一のベントに備え、放射性物質の放出を大幅に低減するフィルタベント装置を設置



# 1. 安全性向上の取り組み

## ＜災害対策支援拠点の整備＞

- 原子力発電所の災害対策（事故の収束や拡大防止）を支援するため、必要な資機材を保管・調達し、発電所へ送り出したり、対応要員の往來を管理するための拠点
- 現在、当社では、柏崎エネルギーホール、信濃川電力所、当間高原リゾートの3拠点を整備
- 上記に加え、発電所から北東方向の出雲崎町にも支援拠点を整備し、多重化することで、支援活動の強化を図る（整備完了目標は2020年1月頃を予定）



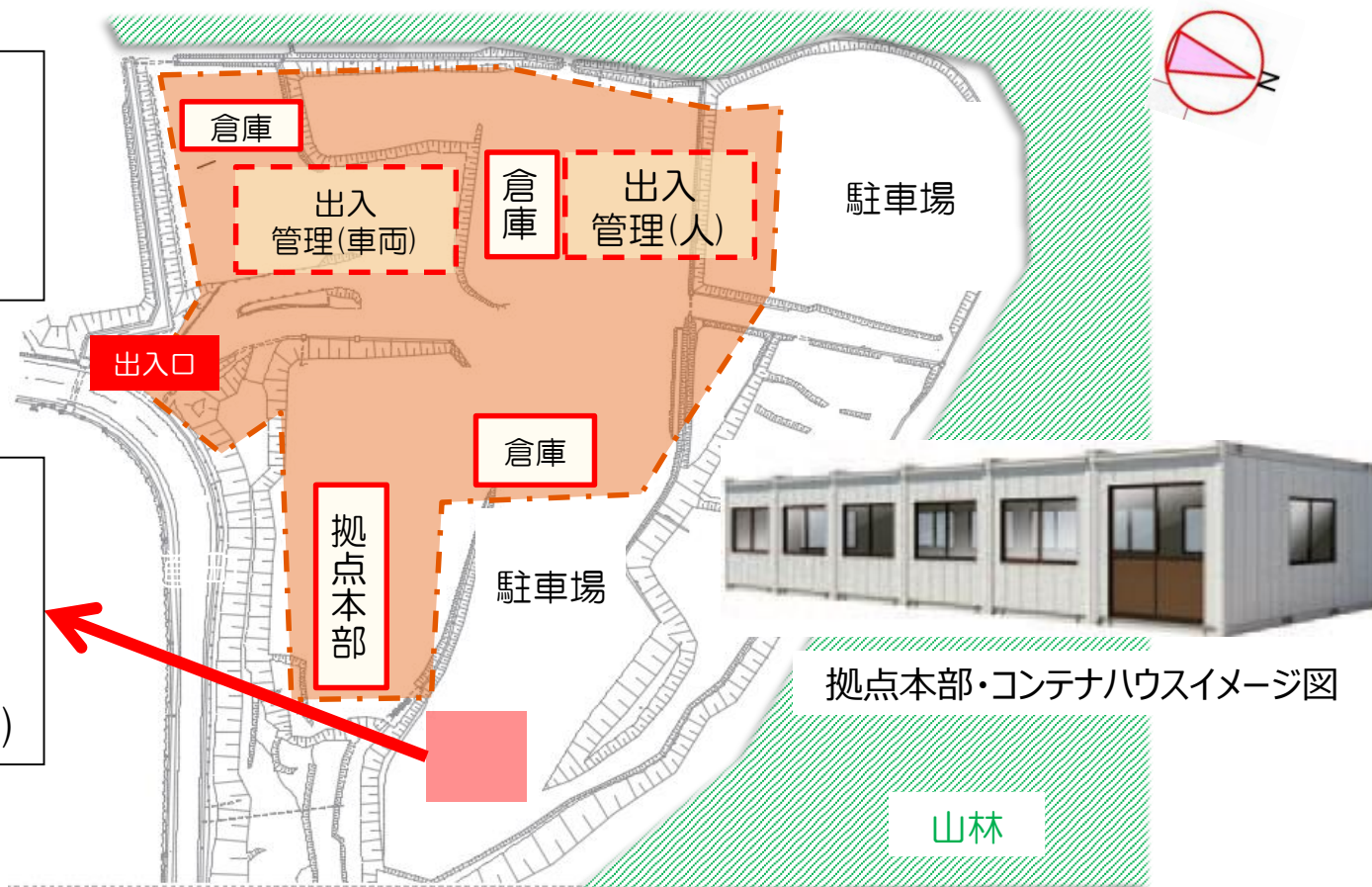
出典：国土地理院電子国土Webシステム

## <出雲崎災害対策支援拠点の整備状況>

- ・整備開始（工事着手） （2019年7月以降を予定）
- ・整備完了目標 （2020年1月頃を予定）

拠点到に配備する資機材については、原子力災害以外の災害時にも活用いただく予定。

地域の緊急医療に貢献する観点から、ドクターヘリが離着陸可能な広さを拠点到内に確保予定。（約20m×約20m）



拠点到本部・コンテナハウスイメージ図

山林

# 1. 安全性向上の取り組み

## ＜出雲崎災害対策支援拠点の資機材配備例＞

(1) 発電所事故収束活動に対する災害対策支援拠点としての活用

- 資機材輸送用車両の駐車場
- 災害対策支援拠点設置用資機材コンテナの設置  
(例. テント、発電機、照明装置  
スクリーニング／モニタリング用資機材、  
水、食料等)

○発電所緊急時要員の一時集合場所

- ・移動用車両の駐車場
- ・資機材コンテナの設置  
(例. 通信連絡装置、照明装置、防護服、  
マスク、放射線測定器、線量計、  
懐中電灯等)

(2) 地域防災対策支援拠点としての活用

- 上記資機材及び用地・要員の活用による地域防災対策活動を支援  
(例. テント、毛布、照明装置、発電機、  
通信連絡装置、水、食料、仮設トイレ等)



＜発電機＞



＜仮設トイレ＞



＜テント＞

## 2. 運営体制の構築の取り組み

### 概要

- 新潟本社の設置
- 原子力事業の社内カンパニー化を予定
- 新潟県知事の掲げる3つの検証へのご協力

### 主な取り組み

- 2015年4月、新潟本社設立
  - 県内全域における広聴・広報活動や原子力災害時の避難支援策の検討・実施
- 2018年3月、新潟本社行動計画を策定し、活動拠点として、柏崎市内に「まもる・そなえる・こたえる」オフィスを開設
- 2019年4月、新潟県のみなさまとのコミュニケーション活動をより強化していくため、柏崎市内のカムフィー2階に地域対応業務の拠点として新たにオフィスを開設  
(柏崎市東本町1-2-16 モーリエ2)
  - 「まもる・そなえる・こたえる」オフィスを拠点としていた地域対応要員の29名が、同オフィスへ移転。さらに、フリーアドレスを導入し、新潟本部や発電所内の地域活動要員も利用
  - 広聴活動で得られた地域の声を活かし、地元目線の取り組みを充実させていく

<まもる・そなえる・こたえるオフィス>



<カムフィー>





### <3つの検証へのご協力>

新潟県の皆さまの安全・安心のためにも、新潟県が進めている検証作業は重要なことであると考えており、最大限のご協力をさせていただきます

#### ■新潟県技術委員会へのご説明

○発電所視察を含め、これまでに35回実施

- ・2019年1月29日 「柏崎刈羽原子力発電所1号機の耐震安全性評価等における炉心スプレイ系配管評価の誤りの原因と対策」と「柏崎刈羽原子力発電所荒浜側洞道内ケーブル火災の原因と対策」について説明

#### ■新潟県避難委員会へのご説明

○発電所視察を含め、これまでに3回実施

- ・2018年12月25日 「事故情報等の伝達体制」について説明

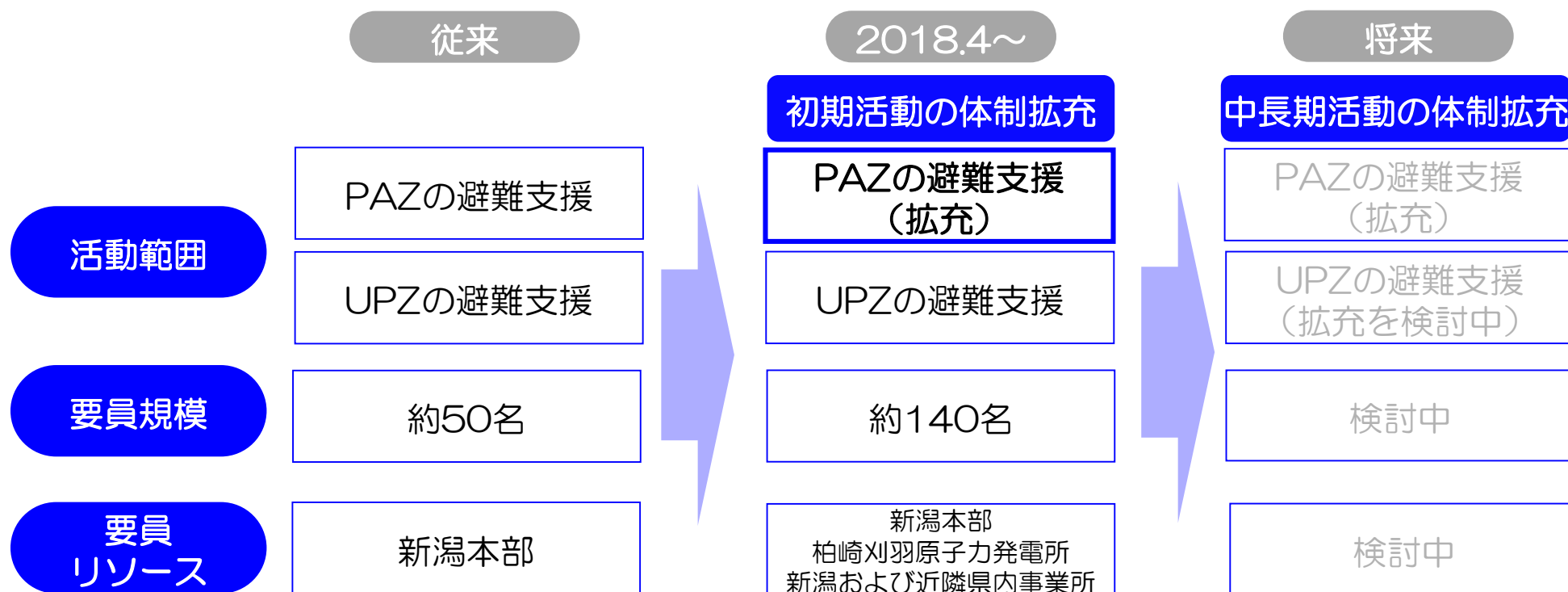
#### ■新潟県机上訓練への協力

- ・2019年2月6日 当社からの派遣社員として2名が参加し、県のシナリオに基づいて、発電所のプラント状況を伝える役割を担った

### 3. 防災支援の取り組み 緊急時の初動体制（1/2）

- 2016年10月より、新潟本部の社員約50名を初動要員とする体制で運用を開始した「避難支援チーム」について、2018年4月1日から、新潟本部、柏崎刈羽原子力発電所、新潟県および近隣県内事業所との協働体制を確立することにより、初動要員を約140名体制へと増員。また、防災や避難支援業務を専門とする社員14名が柏崎市内に常駐
- これにより、概ね5km圏内(PAZ)の避難支援を行う初期活動の体制を拡充
- 更に、概ね30km圏内(UPZ)の避難支援活動の体制の拡充についても検討中

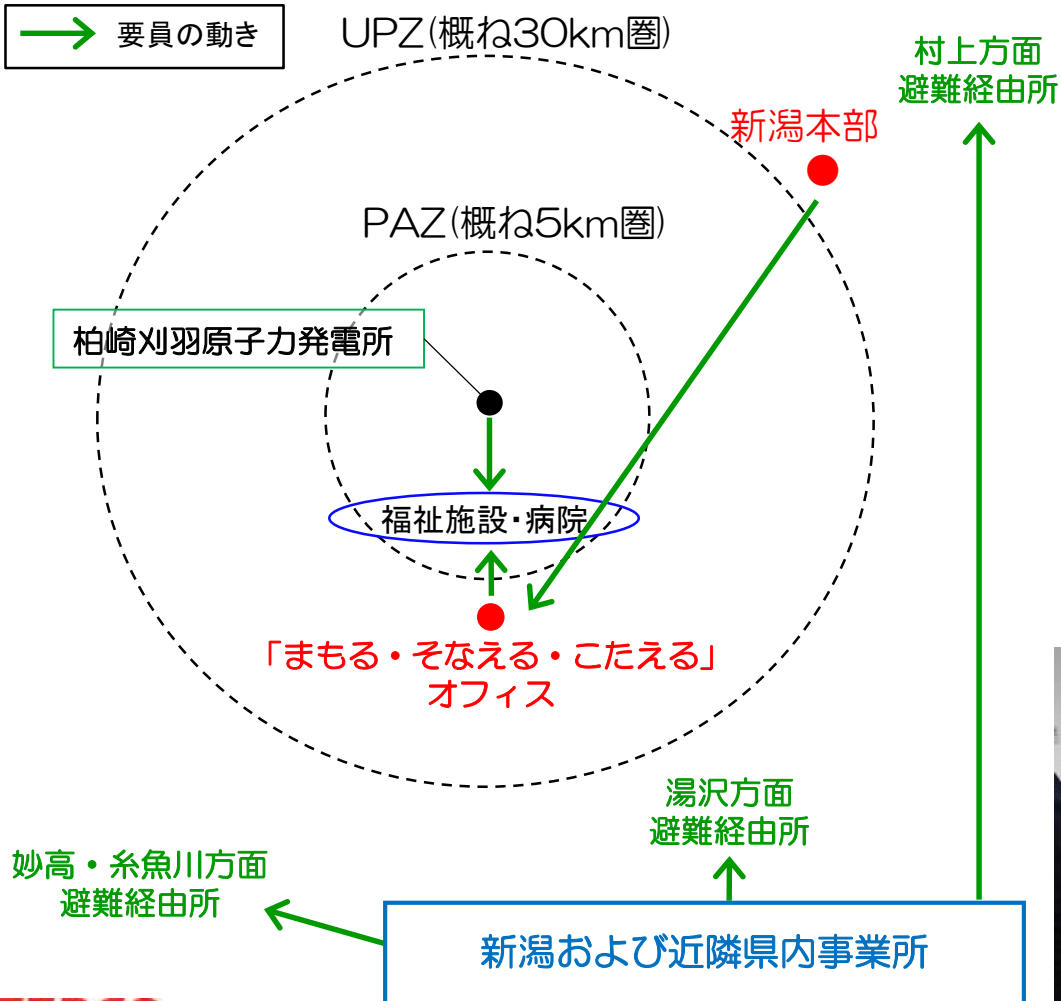
#### 「避難支援チーム」の増強（緊急時）



### 3. 防災支援の取り組み 緊急時の初動体制 (2/2)

#### 緊急時における初期活動(PAZの避難支援)の体制

- 約140名による初期活動の体制に拡充
- 今後、訓練を重ねてクイック&パワーアップを実現



	活動内容	要員 リソース
初期活動	①介護を必要とされる方々の避難支援 (福祉車両・バス等の運転、移動介助)	新潟本部、 柏崎刈羽 原子力発電所
	②福祉施設・病院 (屋内退避施設)の運営支援 (介護補助、物資補給)	
	③PAZ避難経路所の運営支援 (開設、案内・介助、車両誘導)	新潟および 近隣県内 事業所



## 4. 地域貢献の取り組み 地域行事への参加

&lt;11/15~3/19の実績&gt;

地域行事	実施日	作業内容	参加者数
刈羽村親善卓球大会	2019/1/13	会場設営、補助員、スコアラー	2名
十日町雪まつり	2019/2/16	駐車場での交通誘導	10名
JR東日本・魚沼漁協主催 小千谷地区サケ稚魚放流	2019/2/21	放流お手伝い	10名
野田地区かまくら キャンドルフェスタ	2019/2/23	バケツへの雪入れ、バケツ運び、 ろうそく点灯、見回り、撤収作業	2名
おぢや風船一揆	2019/2/23・24	試乗ブース運営補佐	8名
越後妻有 雪花火	2019/3/2	会場の交通誘導	5名
つなん雪まつり	2019/3/4~3/10 (イベントは3/9開催)	会場設営、駐車場での交通誘導、 後片付け	14名
千曲川(西大滝下流)水環境改善促進 協議会関連 稚魚放流イベント (湯滝橋)	2019/3/5	放流お手伝い	5名
中魚沼漁協主催 中津川稚魚放流イベント	2019/3/11	放流お手伝い	5名

# 5. 傾聴と対話の取り組み ① 全戸訪問

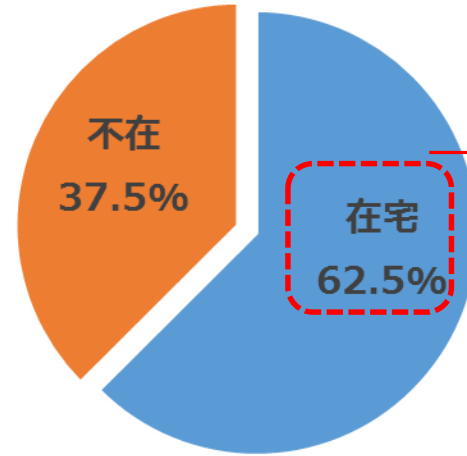
新潟本社の社員が、柏崎市・刈羽村の店舗付住宅を含む全ての住宅をご訪問させていただき、ご意見やご要望を傾聴する訪問活動を実施。

## ●第4回 実施期間

2018年8月1日  
～12月2日

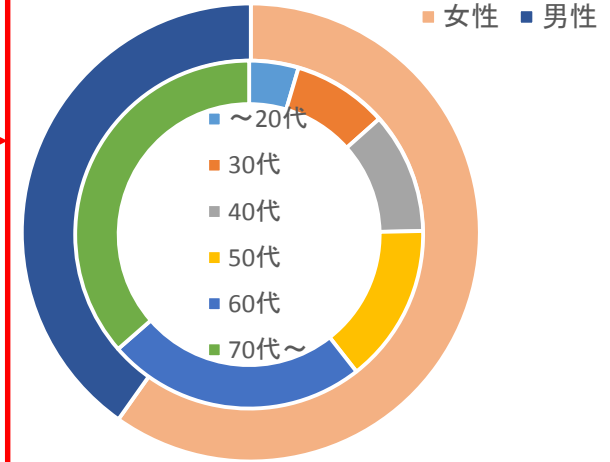
訪問状況	
在宅	22,345
不在	13,391
空き家等*	7,286
合計	43,032

※空き家等は、「空き家」と「住宅なし店舗・事務所」で整理

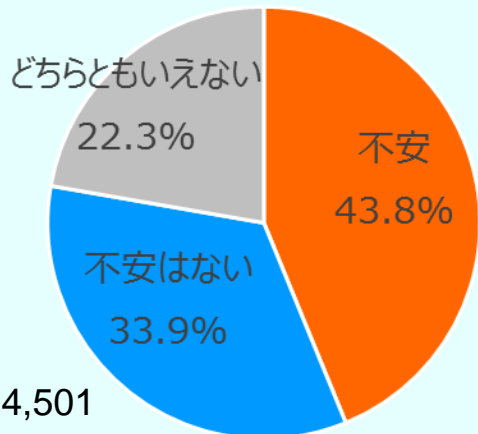


## お会いできた方の性別・年代\*

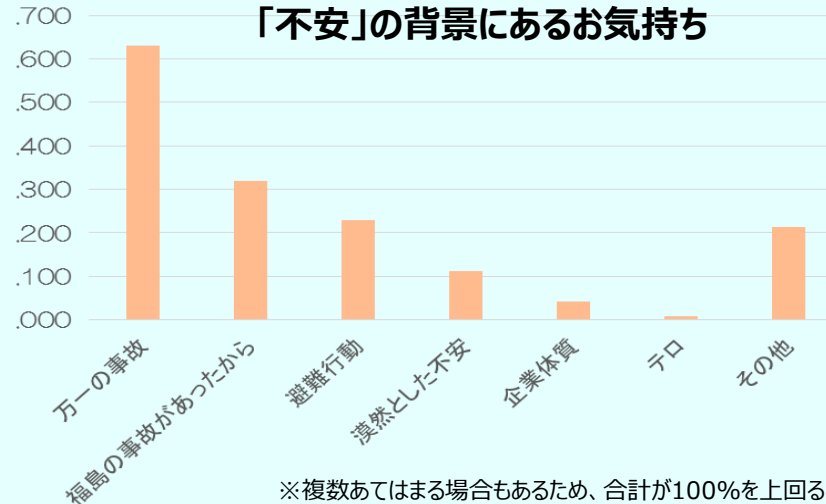
\* 対面者による推知情報です



## 発電所に対する不安



## 「不安」の背景にあるお気持ち



## <参考>

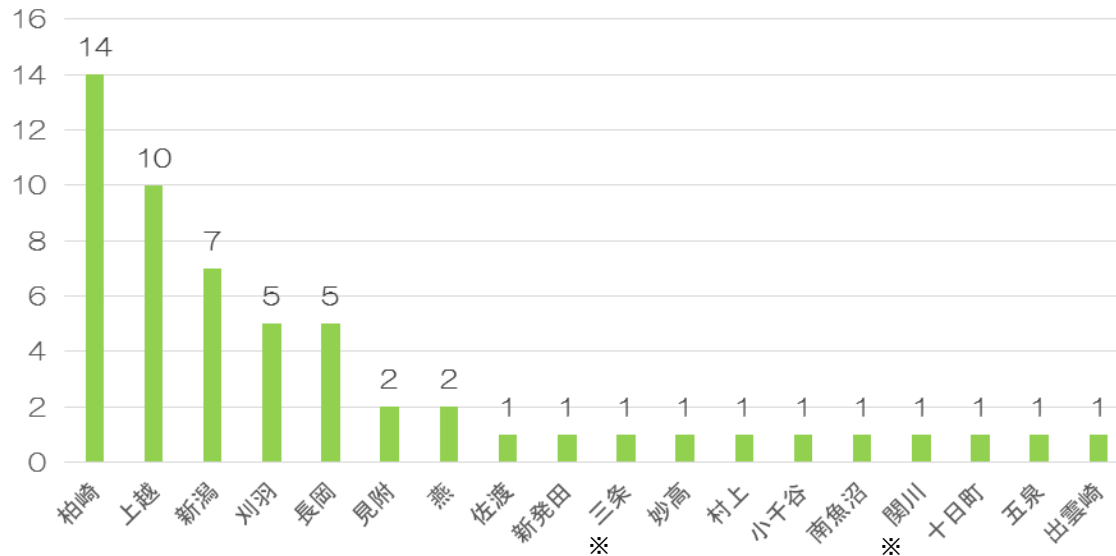
### これまでの訪問活動

- 第1回 2015年6月～9月
- 第2回 2016年5月～9月
- 第3回 2017年5月～9月

## 実施内容

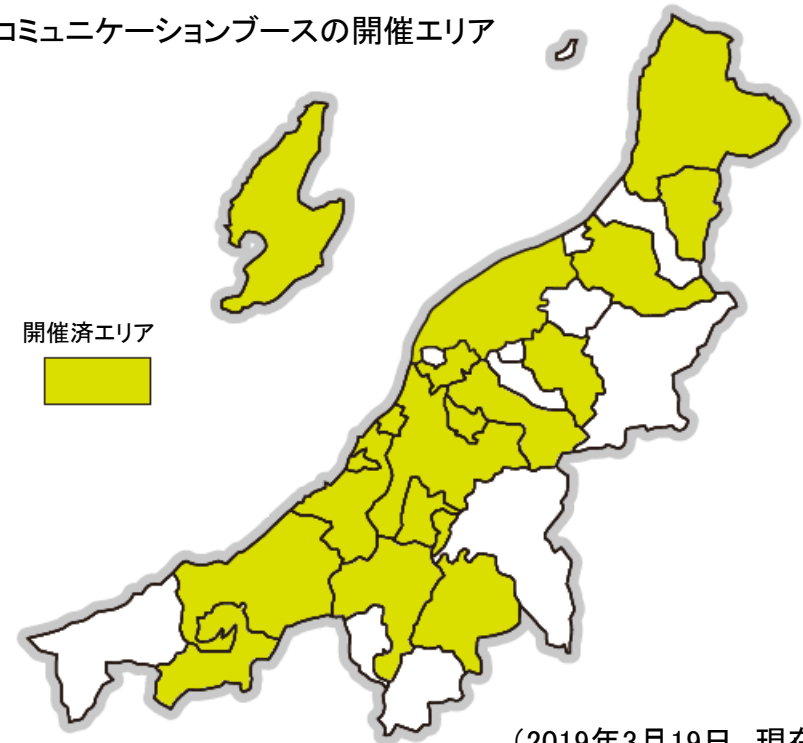
■ 新潟県内において「東京電力コミュニケーションブース」を設置し、県内のみなさまからの疑問やご意見をお聞きするとともに、柏崎刈羽原子力発電所の安全対策の取り組み等をわかりやすくご紹介しております。また、パネル展示等を通じて発電所で講じている安全対策や放射線など原子力発電全般に関する質問にお答えするとともに、さまざまな「声」をお聴きしております。

開催回数(合計54回)



※2つの市町村を対象として「声」をお聴きしているブースがあるため、開催回数とグラフの合計値は異なります。

コミュニケーションブースの開催エリア



(2019年3月19日 現在)

- 東京電力コミュニケーションブースではパネルや模型の展示を通して、柏崎刈羽原子力発電所の安全対策等に対するご質問にお答えしております。また、VR（バーチャルリアリティ）を活用して、臨場感ある映像で発電所にいるような体験もしていただいております。
- これまでに54回開催し、累計11,242人の方にお越しいただき、多くの「声」をお聴きしました。

<前回会見以降（11/15）の実績>

開催エリア	開催場所	開催日	来場者数
新潟市西区	アピタ新潟西店	2018/11/15~11/19	1055名
上越市	上越市市民プラザ	2019/2/25~3/1	265名

2018.11.15~11.19 アピタ新潟西店

2019.2.25~3.1 上越市市民プラザ



VRの映像

原子炉建屋



フィルタベント



## <イベント型ブース>

出展イベント	開催場所	開催日
刈羽村ふるさとまつり	刈羽村生涯学習センターラビカ	2018/8/15
出雲崎町船まつり	出雲崎漁港・漁港荷捌所所内特設ステージ	2018/8/15
高内城祭&別山ふるさと夏まつり	別山コミュニティーセンター（柏崎市西山町）	2018/8/25
ほんちょうマルシェ	柏崎市東本町1丁目フォンジエストリート棟前	2018/9/1
ほんちょうマルシェ	柏崎市東本町1丁目フォンジエストリート棟前	2018/10/6
ハッピーハロウィンinまつなみ	松波コミュニティーセンター（柏崎市松波）	2018/10/14
上条コミセンまつり	上条コミュニティーセンター（柏崎市上条）	2018/10/28
高柳産業文化まつり	高柳コミュニティーセンター（柏崎市高柳町）	2018/11/3
中央コミセンまつり	中央コミュニティーセンター（柏崎市）	2018/11/11

### 【刈羽村ふるさとまつり】

実施日：2018/8/15

内 容：発電所バス見学・VRコーナー アミューズメントコーナー



### 高内城祭&別山ふるさと夏まつり

実施日：2018/8/25

内 容：VR・工作教室コーナー





## <イベント型ブース>

出展イベント	開催場所	開催日
こども向け電気講座	見附市勤労者家庭支援施設 ふぁみりあ	2018/7/30
こども向け電気講座	表町コミュニティセンター1 F会議室 (長岡市)	2018/8/20
与板町十五夜まつり「おまつり広場イベント」	長岡市与板町中町地内 国道403号線	2018/9/15
「さんじょう消防・防災フェスタ」	三条防災ステーション	2018/10/14
燕市南公民館文化祭	燕市 南公民館	2018/10/21
「おぐにコミセンまつり」	おぐにコミュニティセンター (長岡市)	2018/11/3
西燕公民館文化祭	燕市 西燕公民館	2018/11/4
「市民交流フェスタ」	見附市 ネーブルみつけ内 1階	2018/11/17
分水小学校区まちづくり協議会 こどもフェスティバル	燕市 分水福社会館	2018/11/17

### 【与板十五夜まつり】

実施日：2018/9/15

内 容：足こぎ発電チャレンジ、手回し発電体験

### 【西燕公民館文化祭】

実施日：2018/11/4

内 容：工作教室、VR体験 (ガイドツアーご案内)



## 5. 傾聴と対話の取り組み ④ 地域の皆さまへの説明会

- 柏崎市と刈羽村において、地域の皆さまからのご意見を伺い、発電所の状況や当社の取り組みをお伝えする貴重な場として「地域の皆さまへの説明会」を実施しております。

### 開催実績（新潟本社設立以降）

日時	場所	参加者数
2015/6/8	刈羽村生涯学習センター ラピカ	64名
2015/6/9	柏崎市産業文化会館	128名
2015/12/21	柏崎市産業文化会館	128名
2015/12/22	刈羽村農村環境改善センター	44名
2016/9/13	柏崎市市民プラザ	79名
2016/9/14	刈羽村 高町地区集会場	24名
2018/1/30	柏崎市産業文化会館	98名
2018/1/31	刈羽村生涯学習センター ラピカ	52名



## 5. 傾聴と対話の取り組み ⑤ トークサロン

- 柏崎刈羽原子力発電所の立地地域にお住まいの女性や子育てをされている方々を対象として、年間を通してトークサロンやカルチャー教室を実施しております。
- 発電所の取り組みをお伝えするとともに、立地地域の皆さまと新潟本社職員との対話活動を実施しております。

### 開催実績（2018年度）

時 期	場 所	主な内容	参加者数
2018.4	・ 柏崎市市民プラザ	・ トークサロン ・ 料理教室	45名
2018.5	・ 柏崎エネルギーホール	・ トークサロン ・ 工作教室	47名
2018.7	・ 柏崎刈羽原子力発電所 （ビジターズハウス）	・ トークサロン ・ 工作教室	86名
2018.9	・ 柏崎エネルギーホール	・ トークサロン ・ 工作教室	22名
2018.9	・ 柏崎市市民プラザ	・ トークサロン ・ 料理教室	40名
2018.11	・ 柏崎エネルギーホール	・ トークサロン ・ 工作教室	24名



トークサロン

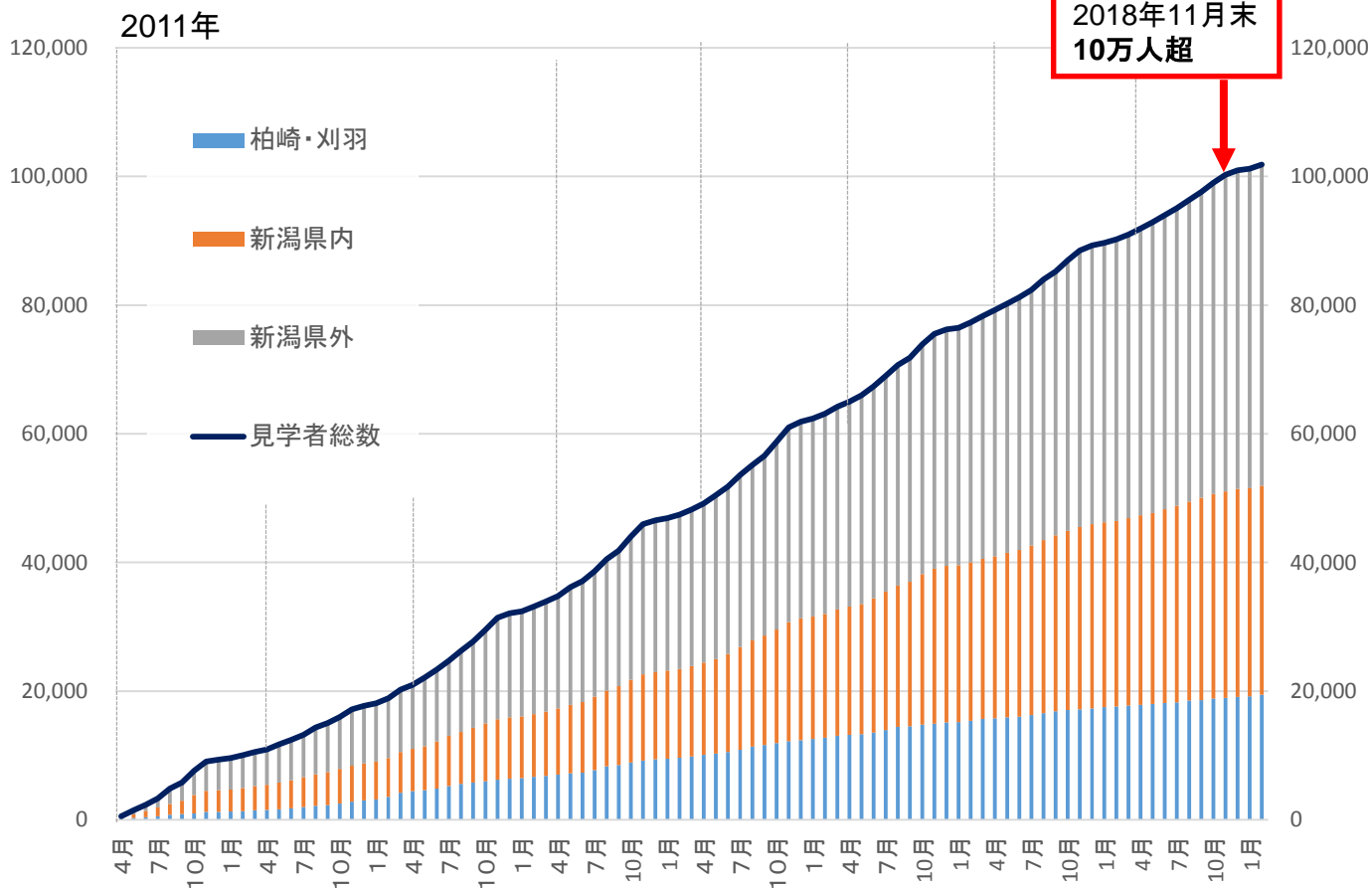


カルチャー教室

# 5. 傾聴と対話の取り組み ⑥ 発電所視察対応

- 新潟県内をはじめ、多くの皆さまに、福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、取り組みを進めている柏崎刈羽原子力発電所の安全対策などをご視察いただいております。
- 2011年4月以降、これまでに累計10万人を超える方々にお越しいただきました。

発電所視察者数



【防潮堤（5～7号機側）】



2019年2月累計

総視察者数		101,833
内 訳	柏崎市・刈羽村	19,430
	新潟県内	32,481
	新潟県外	49,922

今後とも、ご視察を通じ、安全対策などをご理解いただけるよう、取り組んでまいります。

## 5. 傾聴と対話の取り組み ⑦ 広告

- 福島第一原子力発電所事故の反省と教訓を踏まえ、柏崎刈羽原子力発電所で講じている安全対策や当社の取り組み等を、新潟県内の一人でも多くの皆さまにお伝えするため、各メディアを通じた広告を実施しております。

- 新潟県内のテレビ各局、ラジオ各局において柏崎刈羽原子力発電所の安全対策等をお伝えするCMを放送
- 所員へのインタビューと安全対策の解説をまとめたリーフレットを作成。コミュニケーションブースでの配布のほか、県内各地のフリーペーパーラックへ設置
- トラブルを含む情報の発信ツールとして、「東京電力通信」を発行
- 日本や世界のエネルギー事情をお伝えする漫画広告を制作シリーズとしてフリーペーパーへの掲載を開始

<リーフレット>



<東京電力通信>



<漫画広告>

